

事務事業評価表

○基礎情報

課名		指令情報課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	39	災害情報を統括・管理し、あらゆる活動を支援する	野島 肇	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				3 人	17 人	1 人	0 人	0 人	1,991 時間	9.8 時間

1 施策指標と実績

施策指標名	第3次実施計画の現状値	目標値(30年度)	実績値			
			25年度	26年度	27年度	28年度
消防緊急通信指令システムの安定運用	システム維持管理定期保守点検1回、セキュリティソフト更新2回	100%	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施

- (評価の見方)
- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
  - ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
  - ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
  - ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
  - ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
  - ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
  - ・ Z 未着手事業
  - ・ 実績 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかったなし

2 事業実績(平成28年度)

No.	事務事業名	事務事業の目的・目指すべき成果	事業の性質	実績			従事者数	会計区分	H28予算 H28決算 (単位:円)	事務事業の指標名	H28目標値	H28実績値	評価	H28業棚選定
		何を・誰を(対象)、どうやって働きかけ(手段)、どうしたいか(生まれる成果)		業務計画	広域連携	行革重点								
1	救急隊の増隊(消防緊急通信システム等整備)	救急隊の増隊に対し、消防緊急通信指令システム等の整備を行い、的確・迅速に出動指令を行う。	政策的事業				0.00	一般	0 0	事業の進捗状況	—	29年度に消防緊急通信指令システム等を整備する。 28年度は未着手	Z	
2	高度救助隊整備等(消防緊急通信システム等整備)(中核市関連)	中核市移行に併せて、高度救助隊発足に伴う消防緊急通信指令システム等を整備する。	政策的事業				0.00	一般	0 0	事業の進捗状況	—	中核市の移行時期が未定のため、28年度は未着手	Z	
3	消防緊急通信指令システム維持管理事業	消防緊急通信指令システムの正常な機能を維持し、継続的な保守業務等により、安定運用を図る。	政策的事業	●	●	●	6.08	一般	125,128,000 114,147,621	119番受信システムの安定運用	指令システムの安定運用率100%	消防緊急通信指令システムの正常な機能を維持し、指令システムの安定運用率100%を実現した。	S	●
4	消防署小和田出張所移転整備事業(消防緊急通信システム等整備)	小和田出張所の移転に対し、消防緊急通信指令システム等の整備を行い、的確・迅速に出動指令を行う。	政策的事業				1.18	一般	0 0	事業の進捗状況	契約事務の完了	契約事務が完了した。	S	
5	消防緊急通信指令システム運用事務	消防緊急通信指令システムを24時間365日適切に運用し、すべての119番通報に対し的確・迅速に対応する。	定例・定型的事業	●	●		5.86	一般	0 0	システム運用に関する業務状況	年間を通して安定運用を実施 災害件数全ての災害通報に対応	年間を通して安定運用を実施した。 災害件数全ての災害通報に対応した。	S	●

6	救命の連鎖に関わる事務	職員に対し、救急に係る教育を行い、口頭指導の知識・能力の向上を図る。	定例・定型的事業				4.61	一般	0 ----- 0	救命の連鎖に関わる知識向上のための実務研修回数	12回	12回	S	
7	災害応急対策活動	-	定例・定型的事業				0.99	一般	0 ----- 0	-	-	-		
8	庁内共通事務	-	定例・定型的事業				1.91	一般	0 ----- 0	-	-	-		
合計							20.63	予算 決算 繰越	125,128,000 114,147,621 -					

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析	
<p>指令情報課の第3次実施計画の事業数は、「災害応急対策活動」、「庁内共通事務」を除き6事業である。</p> <p>これらの事業の評価結果は、「S」4事業、「Z」2事業となっており、ほとんどの事業が順調に実施できたと考える。</p> <p>救急隊の増隊は29年度に消防緊急通信指令システム等を整備するため、また、高度救助隊整備等については、中核市の移行時期が未定のため、それぞれ「S」以外の評価となっている。</p> <p>事務事業の指標設定にあつては、指令業務の安定運用と出動指令の的確・迅速を実現するための指標設定ができていると考える。</p> <p>事業の成果にあつては、「指令システムに係る知識や技術向上のための研修の強化」、「救急に係る口頭指導の知識・能力の向上」などの人材育成を行うとともに、指令システムの機器を良好な状態で維持することにより、24時間365日の安定運用を実現した。</p> <p>また、災害活動支援に有効なシステムの導入として、外国人からの119番等に対応した通訳コンシェル活用や聴覚障害者に対するNET119緊急通報システムの広報活動により、市民サービスの充実を図っている。</p> <p>職員の時間外勤務に着目すると、総時間1,991時間で、一人あたりで換算すると月平均10時間となっており、事業手法もおおむね評価できる。今後もワークライフバランスに重点を置き、業務の効率的な進行管理を進めていく必要がある。</p> <p>指令情報課の事業は119番通報の受付や消防部隊等への出動指令が主なものとなっており、達成度や実施効果を数値で示すことは難しいが、職員が災害対応や人命救助など助けを求める市民の窓口となっていることを再認識し、市民サービスの充実を図ることが重要となる。</p>	

4 平成28年度業務棚卸評価における改善の取組結果

No.	事務事業名	取り組みの結果
3	消防緊急通信指令システム維持管理事業	消防緊急通信指令システムの正常な機能を維持し、市民から119番通報を受け、あらゆる災害に対しの確・迅速な出動指令を行っている。また、職員の知識・技術の向上のため、指令システムの維持管理に関する研修を実施し、24時間365日の安定運用を図る。
5	消防緊急通信指令システム運用事務	消防緊急通信指令システムを適切に運用し、あらゆる災害に対しの確・迅速に対応するため、マニュアル等を精査し職員間における重要度・緊急度等の共通認識を図る。

5 新たな行政改革重点推進事業（本項目に記載した場合、別途行革重点推進事業管理表を作成していただきます）

No.	事務事業名	重点事項名	取り組みの概要
1	該当なし	-	-